

## 平成27年度 収集資料一覧

資料番号	実践学年	資料名(内容項目)	資料の出典	学校番号 学校名	実践者
	小1	ぞうのみずあそび 2-(3) 友情	絵本『ぞうのみずあそび』 いとうひろし作・絵 (絵本館)	① 梅園小	花岡 紗耶
あらすじ		ある暑い日、ぞうが動物たちを水浴びに誘う。「きみがみんなを運んでくれるなら。」と言われ、ぞうはやっとの思いでみんなを池に運ぶ。しかし、ぞうが池に入ると大津波になるからと入れてもらえない。優しいぞうも次第に腹が立って、池の水を吸い込む。			
発問		① みんなを運んでいるときのぞうの気持ちを考えよう。 ② 池に入れてもらえないぞうの気持ちを考えよう。 ③ どうしたら仲直りできるかライオンさんに手紙を書こう。			
コメント		ぞうやライオンなど、動物の表情が豊かで子どもたちの食いつきがよかった。私の絵本の読み方のせいか、ライオンが悪者になってしまった。それでも、みんなで仲良く遊ぶと楽しいということが学べた。その後、体育のプールで楽しく活動ができた。			
	小1	あいさつはまほうのことば 2-(1) 礼儀	『小1 教育技術』(明治図書) 2015.5月号	⑮ 福岡小	稲葉 和子
あらすじ		主人公「ゆみ」は、挨拶をするのが好きで、毎日いろいろな人に挨拶をします。学校に行くときには、お隣のおばあちゃんに、帰りは交通指導員のおじさんに。お母さんからお隣のおばあちゃんが大変喜んでくれていたということを知り、『あいさつはまほうのことばだなあ』と思い、ますます好きになりました。			
発問		① お隣のおばあちゃんに「おはようございます」と言っているときのゆみさんはどんな気持ちだったでしょう。 ② お母さんから、おばあちゃんが喜んでることを聞いたとき、ゆみさんはどんな気持ちだったでしょう。 ③ 次の日、おばあちゃんに「ありがとうございます」と言って、おじぎをしたゆみさんは、どんな気持ちだったでしょう。			
コメント		子供たちは、主人公「ゆみ」を自分自身に置き換えて考えることができた。人は、ひとりでは生きていけない。家族や地域の人たちと助け合い、支え合いながら生きている。大きな声で言うことだけでなく、心を込めて挨拶することで、自分はもちろん、相手も気持ちがよくなるということが分かったようだった。			
	小1	くれよんのくろくん 2-(3) 信頼・友情	『くれよんのくろくん』(童心社) なかやみわ 作	⑳ 矢北小	井土 民記臣
あらすじ		新品のクレヨンたちがいました。みんなで楽しく色を塗っているときに、くろくんが一緒に塗ろうとすると、「描いた絵を黒くされたらたまらない」と言われ、仲間外れにされてしまう。しかし、シャープペンのお兄さんの協力で真黒な画用紙に花火が咲きました。みんな、くろくに「ごめんね」と謝りました。			
発問		① 画用紙に花などを描いているときの色クレヨンの気持ち ② くろくに「ぼくはどこにかけばいいの」と聞かれたときの色クレヨンの気持ち ③ シャープペンおにいさんの言葉を聞いたときの色クレヨンの気持ち			
コメント		1年生で実践をした。発問を考えると、友情・信頼、個性の伸長、どちらでも展開できると考えた。本実践は、友情・信頼で行った。絵本なので、資料の世界に入りやすかった。話の内容も分かりやすく、積極的に話し合いに参加することができた。感想では、友達とみんな仲良くしたいと前向きな意見が並んだ。			

①	小1	白くまショー 4-(1) 規則の尊重・公德心	自作資料	③⑦ 六ッ美 南部小	本多 葵
あらすじ	いつも周りのことを考えず、自分のペースで行動している主人公けんたは、ある日学校の遠足で動物園へ行き、自由時間にブランコをする。集合時間を知らせる先生の声が聞こえ、友達に「そろそろ行こう」と言われるが、「あと1回」と言って自分勝手な行動をする。結局、集合時間に遅れてしまい、楽しみにしていた白くまショーを見ることができず、学級全体に迷惑をかけてしまったという内容である。				
発問	①なぜブランコをやめられなかったのか ②集合時間に遅れて、白くまショーを見るができなくなったときのけんたの気持ち ③なぜ白くまショーを見るができなかったか				
コメント	本資料は問題解決型の授業展開であるため、発問は大まかではあるが、発問③をメインとした授業の流れとなる。1つの発問から構成される問題解決型の授業ではあるが、小1の子供には難しいため、いくつか発問を考えておく必要がある。				

②	小2	さあ こまった 4-(1) 約束の尊重・公德心 2-(2) 思いやり・親切	『モラルジレンマ資料と授業展開』 (明治図書) 編者:荒木紀幸	⑤ 緑丘小	原田 祐美子
あらすじ	主人公のゆうきくと りえさんが2人で黒板を消していると、りえさんの手が花瓶に当たって割れてしまいます。花瓶のかげらを拾いながら、ゆうきくんはどきどきします。ゆうきくんは、放課に大縄の練習をする約束をしていたのです。それも、自分がやろうと言ったのです。ゆうきくんは、りえちゃんのところにいるか、大縄に行くか、迷ってしまいました。				
発問	○ゆうきくんは、どうすればよかったかな。				
コメント	モラルジレンマ資料ということもあり、児童が真剣に迷っている姿が見られました。「りえさんのところにいる」を選ぶ児童の方が多かったですが、互いの意見を聞き、なるほどとなっている子どもたくさんいました。元の資料をクラスの実態に合わせて、少し変更してあります。				

	小2	公園のおにごっこ 2-(2) 思いやり・親切	『みんなのどうとく 2年』(学研)	⑰ 藤川小	廣間 三枝子
あらすじ	主人公しんじとその友達、ゆうた(自分たちより幼く、みんなと同じよう走れない子)を気遣っておにごっこをする。しかし、ゆうたは、ジャングルジムの方へ行き、おにごっこをやめてしまう。そこで、ゆうたがどうしてやめてしまったのかを考え、もう一度ゆうたをおにごっこに誘う。しんじが勢いでゆうたにタッチしてしまうと、ゆうたは元気になり、追いかけて始めた。張り切るゆうたを見て、みんなも楽しくおにごっこができるようになる。				
発問	①ゆうたを入れておにごっこをしているしんじの気持ちを考えよう。 ②おにごっこをやめ、ジャングルジムへ行ってしまったときのゆうたの気持ちを考えよう。(学習課題) ③おにになり、急に元気になったゆうたとしんじの気持ちを考えよう。				
コメント	この授業では、資料を提示した後に、初めて道徳の授業での「学習課題」を子供と一緒に作ることに挑戦した。場面ごとに主人公の気持ちを考えていくのではなく、自分たちが作った学習課題は意欲を高めることができ、課題に対する自分の考えをもったことで、仲間と関わり合う足場を固めることができた。課題作りに時間をかけずに、絞り込んで目標に迫っていきたい。				

小3	神戸のふっこうは、ぼくらの手で 4-(4) 勤労	『みんなのどうとく 4年』(学研)	③ 男川小	原田 真弓
あらすじ	「ぼく」は、阪神大震災の被災者として、小学校の避難所に身を寄せた。そこで、大人だけでなく、小さな女の子まで人のために働く姿を見て、自分にもできることはないかと自問していく。			
発問	①資料を読んで、気になったところ、心に残ったところを発表しよう。 ②なぜ「ぼく」は、急に絵本を探し出したのだろう。 ③(板書を振り返りながら)なるほどと思ったこと、心に留めておきたいことはあるか考えよう。			
コメント	資料の範読後、気になったところや心に残ったことをみんなで話し合い、今日の授業の課題を子供たちといっしょに決めている。その話し合いにより、自分の考えが変わったことを最後に発表し、新しい見方、考え方につなげることができた。			

小3	まどガラスと魚 1-(2) 思慮	道徳デジパネ	⑳ 矢北小	宇都宮 慎
あらすじ	よその家の窓ガラスを割った千一郎は、気になるのだが謝れないでいた。正直な山田さんのお姉さんの行いを通して自分を反省し、母にわけほ話して、誤りに行く。			
発問	①窓ガラスを割ってしまった千一郎は、逃げながらどんなことを思っていたか ②「ガラスをわったのはだれだ」と書かれた貼り紙を見て、千一郎はどんな気持ちだったか ③山田さんのお姉さんの言葉を聞いて、千一郎はどんなことを思ったか			
コメント	子供たちが経験したことのある失敗について、振り返ることができます。千一郎の気持ちを追っていくことで、過ちを素直に改めようとする心情を養うことができます。中学年にとってよい教材だと思います。			

小6	自分の力だけでやってこれたわけ ではない 2-(3) 人とのかかわり	『はじめての道徳教科書』(育鵬社) 編:道徳教育をすすめる有識者の会	⑫ 広幡小	岩瀬 広子
あらすじ	影響を与えた人たちが松井秀喜さんにかけて言葉や行動によって、感謝する気持ちを持ち続けられたことが書かれている。			
発問	①感謝する気持ちを持ち続けられた1つの理由に「人とのかかわり」があるように思います。松井秀喜さんに影響を与えた人たちはどんな人たちでしたか。 ②影響を与えた人たちが、松井秀喜さんにかけて言葉や行動にはどんなものがありましたか。 ③松井秀喜さんは、「すべては偶然の産物。いろいろないい偶然が重なったから、今の自分がある」と言って、常に感謝の気持ちを忘れることはありませんでした。6年間お世話になった広幡小学校に感謝の気持ちを表すためにやれることがあると思います。あなたなら、今日から何をしようと思いますか。			
コメント	スポーツ選手の言葉や行動で、世界で活躍している人でも当たり前のことを当たり前に行っているといふことが、子供たちによく分かってもらえた。日々の成長に活かしてもらえるとよい。			

中1	ないた赤おに 2-(3) 信頼・友情	絵本『ないた 赤おに』(偕成社) シェル・シルヴァスタイン作 村上春樹訳	⑩ 常盤中	安部 朋彦
あらすじ	人間となかよくしたいという赤おにの願いをかなえるために、自分を犠牲にした青おに。真実を知ったとき、赤おには涙を流した。			
発問	① 赤おに、青おににとっての幸せとは? ② 赤おには、今、幸せだろうか。 ③ 友情とは?			
コメント	「ないた赤おに」は、どの学年でも使える資料だと改めて感じた。赤おにだけでなく、青おにの心情にもスポットをあてて考えることができた。中2、中3でも、間違った考えや意見が出て、授業がとても盛り上がりと思われる。			

中1	人の温かさ バスと赤ちゃん 4-(2) 公德心・社会連帯	『心にしみるいい話』(講談社) 全国新聞家シニアライフ協議会 中野茂子作	⑫ 矢作中	鈴木 雅樹
あらすじ	満員のバスの中で泣き出してしまった赤ちゃんのために、若い母親は「ここで降ります。」と言う。降りて目的地まで歩くのは大変だろうと運転手は乗客に向けてアナウンスをする。			
発問	① 母親は、本当に降りたかったのだろうか。 ② 運転手は、なぜ母親に声をかけたのだろうか。 ③ 乗客の拍手は、全員、心からの拍手だったのだろうか。			
コメント	運転手や他の乗客の拍手に込められた思いを追うことで、公德心や公共のマナーに迫った。「いい話」「いい人」しかないなので、生徒の考えを揺さぶる発問を意識し、「そう言われれば」から、「でもやっぱり」と生徒の考えが動いていった。			

中2	大きな木 4-(5) 無償の愛、家族愛	絵本『大きな木』(あすなろ書房) シェル・シルヴァスタイン作 村上春樹訳	⑦ 福岡中	萩原 大輔
あらすじ	少年の成長を見守り、少年を愛した木による、無償の愛についての話			
発問	① 木は本当に幸せだったのか			
コメント	この話で学んだ無償の愛を、自分の父や母も同じように子供に与えていることに気付かせ、父・母への感謝の気持ちを引き出すことを目指したい。			

中2	人間の強さと弱さ 償い 3-(3) 人間性への信頼	『償い さだまさし絵本シリーズ』(サン マーク出版) さだまさし作 おぐらひろかず絵	⑫ 矢作中	内田 貴博
あらすじ	交通事故で人を殺してしまったゆうちゃんと、被害者の奥さんの互いにやりきれない思いを、ゆうちゃんの知人である僕が第三者の目線から見ている。互いの心情の変化を追うことで、人間の強さと弱さに迫っていく。			
発問	①僕が、もらい泣きした涙が止まらない理由について考えよう。 ②奥さんが、「もとに戻してあげてほしい」と書いたのはなぜか。			
コメント	①の発問を生徒の感想から引き出し、授業をつくろうと考えていた。しかし、生徒の思いから、②の発問をつくることになった。話が深まっていけば、いきつく先は同じになるはずだが、自分自身がうまくまとめることができなかった。			

③

中2	だれのためのプロフィール 2-(1) 礼儀	自作資料	⑬ 北中	天野 幸輔
あらすじ	塾で、主人公優那の学校に来る転校生の話題が上がった。スマホの写真から、みんなで勝手な想像をして盛り上がったのだが、実際に転校してきた本人は、写真と印象が違っていた。職場体験で事業所に渡すプロフィールカードの学習が始まり、優那は自分の行いの意味を改めて考えることになった。			
発問	①なぜプロフィールカードが必要なのだろうか。 ②なぜ名刺を両手でいただくのだろうか ③事前に写真を見て騒いだ優那たちの問題点は何だろうか。			
コメント	1年生で実施した際は、転校生の姓が変わる部分は焦点がぼけるので資料から削除して実施しました。タブレットを用いると連絡しただけでも、生徒はわくわくしていました。転校生の写真は、担任が生徒の制服を着た写真を用いました。書き込みは大変盛り上がり、落書きのようなものもありました。次の指導要領にも合致する内容となりました。			